

## 災害の記憶を風化させず、新たな災害に備えるため 東日本大震災写真展を開催します

東日本大震災の記憶を風化させることなく、いつ起きるかわからない新たな災害に備えるため、区では3月11日(火)から13日(木)まで、「3.11を忘れない」事業として、杉並区役所1階のロビーで東日本大震災写真展を開催します。

平成23年3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生し、区の交流自治体であり、災害時相互援助協定を締結している福島県南相馬市は地震や津波、放射性物質による汚染など甚大な被害に見舞われました。多くの人命が失われ、通信や交通も途絶え、市内の約3分の2が避難指示等の区域となったために外部からの支援が届かない「陸の孤島」となった南相馬市へ、区と災害協定を結ぶ自治体に協力を呼びかけて、物資の支援や市内からの避難が必要になった南相馬市民の搬送や受け入れを行いました。その後現在も職員を派遣し続け、復興を支えながら交流を続けています。

区では、こうした東日本大震災の記憶を風化させることなく語り継ぎ、30年以内に発生する確率が70%と言われる首都直下地震等の大規模災害への備えを区民に意識してもらうため、平成24年から毎年3月11日に「3.11を忘れない」事業を継続して行っています。

今年は、東日本大震災に関する写真展に加え、「南相馬市環境回復展」を併せて行います。南相馬市の「環境の回復からくらしの回復へ」をテーマとしたパネル展示になっています。そのほか、災害への備えを意識してもらうため、防災に関する展示もあります。

### ロビー展示

【日時】3月11日(火)～13日(木)

- ①東日本大震災写真展示 午前8時30分～午後5時
- ②南相馬市環境回復展 午前8時30分～午後5時
- ③防災に関する展示 午前10時～午後4時

【会場】杉並区役所1階ロビー

### 南相馬市物産展

【日時】3月11日(火) 午前10時～午後3時

【会場】杉並区役所 中杉通り側広場

東日本大震災写真展示



【岸本聡子杉並区長のコメント】

「東日本大震災から14年目となる今年も、災害の記憶を風化させない取り組みを行い、被災地や被災された方々に寄り添い、そして引き続き災害に対する備えを区としてしっかり行っていきます。

昨年の能登半島地震や日向灘を震源とする地震などの発生に伴い、今、区民の皆さんの多くは災害に対する危機意識が高まっていると思います。改めて首都直下地震などの発生に備え、ご家族やご近所などで防災についてぜひ話し合ってください。」

【問い合わせ先】

危機管理対策課：03-3312-2111 内線1584

※「3.11を忘れない」事業に関すること ※南相馬市物産展に関すること

文化・交流課：03-3312-2111 内線3772

※南相馬市環境回復展に関すること

広報課報道係：03-3312-2111 内線1502

津波被災地での被災者捜索活動

鹿島区真野



鹿島区海老

原町火力発電所

